

一般社団法人 埼玉県リハビリテーション専門職協会
令和6年度 第4回理事会 議事録

日 時: 令和6年11月11日(月)19:00~19:49

場 所: オンライン(Zoom)

参加者: 名(理事12名、監事3名)

理事) 岡持、伊藤、蛭田、水田、阿久澤、駒井、茂木、大橋、平田、高木、中辻、大住

監事) 南本、宇田、田尻

司 会: 岡持

書 記: 大住

<審議>

第1号議案 第3回理事会議事録承認について【大住】

- ・ 9/9に開催された第3回理事会の議事録について、内容の確認をお願いします。

協議内容

- ・ 特に問題なし

<決定事項>

- ・ 満場一致で承認される。

第2号議案 地域リハ専門職育成研修事業について【駒井さんより】

- ・ 地域リハ専門職育成研修事業 実践コース①-1 について協議をお願いします。
- ・ 短期集中予防サービス
- ・ 日程は決まり次第

協議内容

- ・ 前回、審議し承認されたため、今回は進捗状況の報告となった。

第3号議案 R7年度事業計画について【岡持さん・駒井さんより】

- ・ 次年度の事業計画の作成準備について協議いたします。
 - ◇ 県委託事業(駒井さんより報告)
 - 参考見積もりが県より提示された。
 - 4本の事業を今年度受諾。来年度も同様の事業の委託予定。

新事業の提案として、

1. 地域包括支援センターに配置に向けた人材育成事業
→ 今後リハ職の配置が予想される中、人材を育成していきたい
2. 短期集中予防サービス事業所向け研修事業

◇ 当会の独自事業

協議内容

- ・ 今年度の県委託事業に関しては、同様にお受けすることに異論はなかった
- ・ 新事業提案の地域包括支援センターのリハ職配置に向けての人材育成
→ 圏央所沢では、そのような動きはない。
→ 春日部は不明。
→ 川越では9期計画で市内の地域包括支援センターにリハ職を配置が決まっている。日本初の取り組みになりそうだが、中身はこれから。
- ・ 新規事業の提案2
→ 短期集中予防サービスの質の向上のため、研修事業の必要性は高いと思う。
→ さいたま市はC事業を行う気がないと言うのが今のスタンスでイメージが湧かないので、教えて欲しい。
→ モデル事業として取り組んだ結果、よかったと言う情報もあって、今後さいたま市でも取り組みに進む可能性がある。
→ 制度の狭間やきっかけとして、とても良い取り組み。しかし、事業所側に通い続けたい。そのため、運動を提供するのではなく、動機づけ支援やセルフマネジメントに舵をきって、依存や通い続けたいとならないように取り組みを行っている。
→ 軽度者の悪化率が7割。リハ職側がこの事実を認識し、リハ職の規範の統合が必要と考えている。
- ・ 当会独自事業として、事業提案について協議する。
→ 今年度実施した研修の成果物を冊子にまとめてはどうか？

<決定事項>

- ・ 県の委託事業として、これまでの4つの事業の継続と新規事業の2つを提案していくことについて、多数の賛同が得られ、承認された。
- ・ 当会独自事業については、継続審議となった。

＜報告・連絡＞

1. 令和6年度地域リハビリテーション専門職育成研修事業の報告(駒井さんより)
 - ・ 報告資料により、報告をされた。
 - ・ 全体研修については参加数が記載漏れのため、後日記載した資料を再掲示する予定。63市町村の担当者が参加された。
 - ・ 今年度開催予定の研修会の企画や準備状況等も説明があった。

その他

- ・ 11月28日(木)
OT士会主催ナイトセミナー(当事者の倉持さんに登壇いただく)
オンラインにて開催。申し込み状況に空きがあります。

＜次回予定＞

- ・ 次回の理事会(令和6年度第5回)
今後の予定 1月13日(月・祝) → 1月27日(月)に変更。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事がこれに記名押印する。

議事録署名

代表理事 岡持利亘

監事 南本浩之

監事 宇田英幸

監事 田尻恵美子

